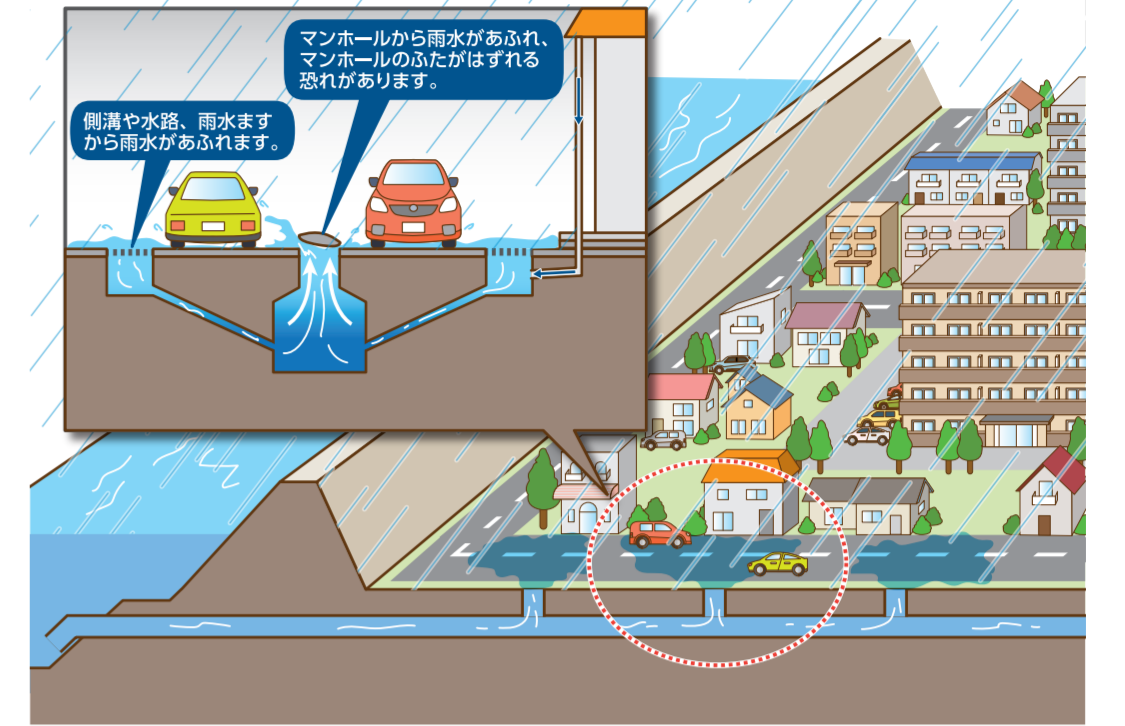


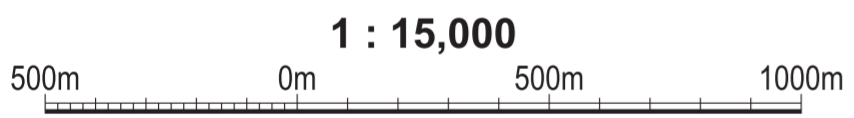
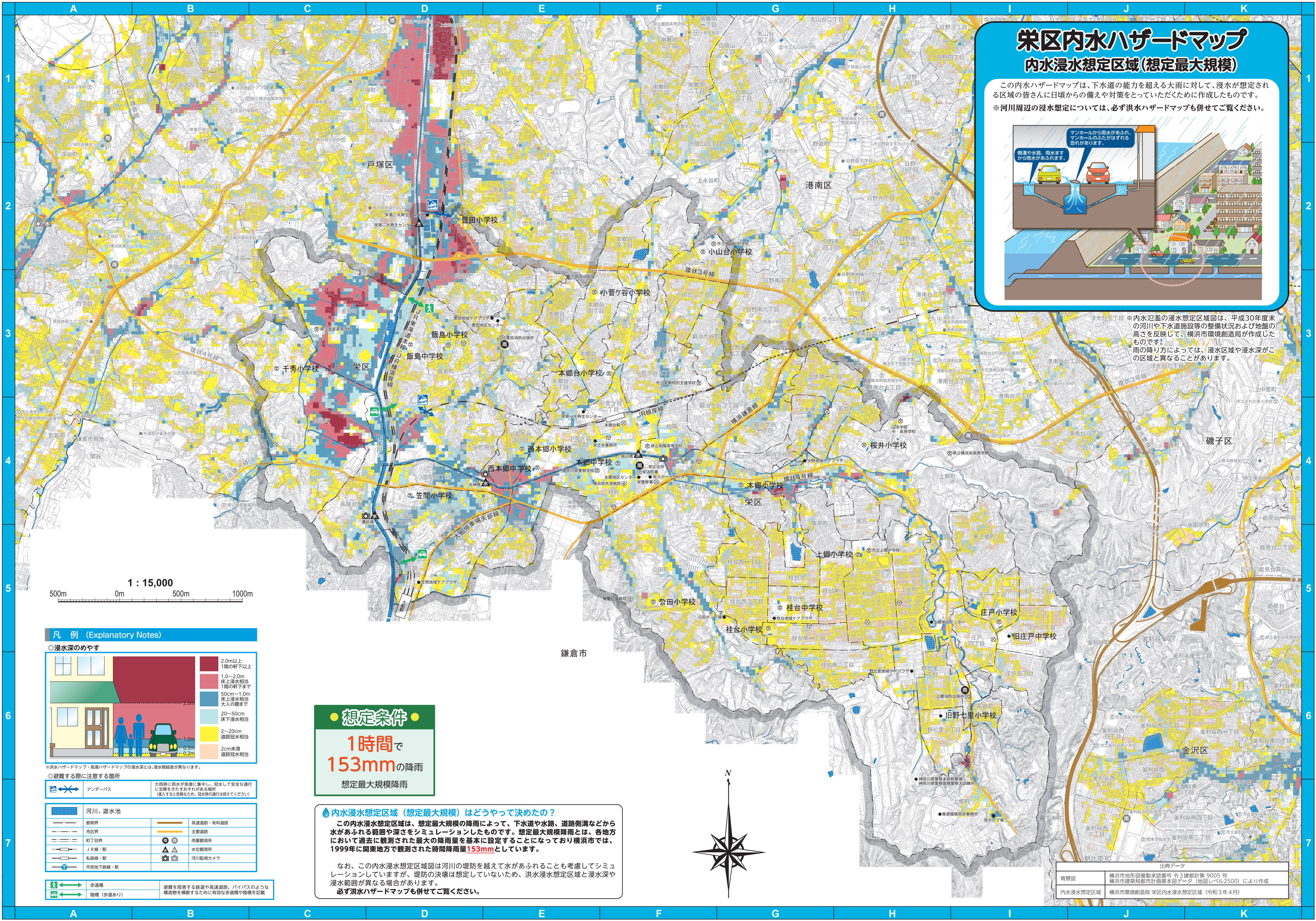
栄区内水ハザードマップ

内水浸水想定区域(想定最大規模)

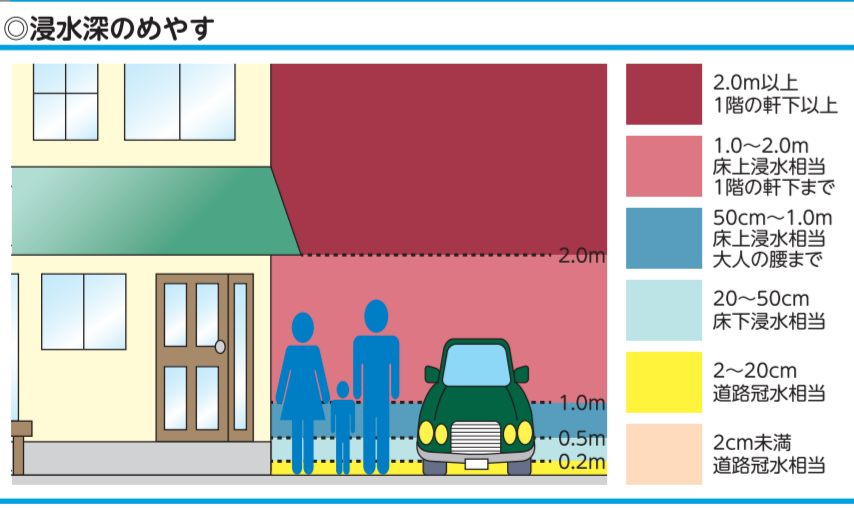
この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。
 ※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



※内水氾濫の浸水想定区域図は、平成30年度末の河川や下水道施設等の整備状況および地盤の高さを反映して、横浜市環境創造局が作成したものです。
 雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なることがあります。



凡例 (Explanatory Notes)



◎避難する際に注意する箇所

	アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所(進入すると危険なため、冠水の時は控えてください)
--	--------	---

	河川、遊水池		高速道路、有料道路
	都県界		主要道路
	市区界		雨量観測所
	町丁目界		水位観測所
	JR線・駅		河川監視カメラ
	私鉄線・駅		
	市営地下鉄線・駅		

歩道橋

避難を阻害する鉄道や高速道路、パイパスのような構造物を横断するために有効な歩道橋や陸橋を記載

●想定条件●
1時間で153mmの降雨
 想定最大規模降雨

◆内水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？
 この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本的に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間降雨量**153mm**としています。
 なお、この内水浸水想定区域図は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。
必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



出典データ

背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9005号 横浜市建築局都市計画基本図データ (地図レベル2500) により作成
内水浸水想定区域	横浜市環境創造局 栄区内水浸水想定区域 (令和3年4月)